

令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和7年1月30日

宗教学法人日本基督教団日野台教会付属 日野台幼稚園

1. 本園の教育目標

○キリスト教の精神に基づく保育 ○一人一人を大切にする保育 ○自由な遊びを大切にする保育

2. 年間の目標・計画

幼稚園教育要領の改訂を踏まえ、一人一人の幼児を大切にした質の高い教育の実践を目指す。自己評価を実施することにより、教職員が客観的に自らを振り返り教育内容の改善に取り組んでいく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	職員の資質向上	B	非常勤職員を含めての公認心理士による園内研修を実施、また定期的にカンファレンスを実施し、専門性の高い職員の育成を図った。 正規職員が自主的に関心のある研修を受講できるよう制度を整えた。
2	安全管理	B	地震・水害・火災・避難に備えて訓練を実施し、危機意識を高め向上を図った。園児と教職員による避難訓練も実施した。
3	保育内容の改善	B	園児が落ち着いて生活や活動ができるような環境づくりを行った。職員間の情報共有、連携を強化した。 「とうきょう すくわくプログラム推進事業」に申請する3つの活動（①砂遊び②イメージによる運動遊び③音遊びをたのしむ）を実施するための環境を構成した。3つの活動により、園児が主体的に探究活動に取り組むことができるよう支援した。

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	教師間で子どもの育ちを共有する機会も多く、職員全員で子どもたちの見守りをすることができた。教師同士の足りない部分もフォローし合うことができたと考える。 教師間の連携を深めるために工夫し改善したことで、保育も豊かになり、教師の個性もいかされた。（非常勤職員の勤務時間の見直し、日々の打ち合わせ等） 新しい職員が増えた中で、1つ1つのことを全体で確認し、どう日々の保育や行事を行っていくのかコミュニケーションをとりながら進めることができた。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
保育内容の改善	今年度保育をして見えてきた行事や保育の改善点をもとに、来年度の日々の保育を行っていく。
仕事の合理化	情報共有や保育の工夫など、保育内容の改善はみられたが、その分残業が増えている。具体的な業務を合理化できるように見直しを図る。
園児獲得への取り組み	ホームページのリニューアル、プレ保育などのアナウンスの仕方を検討する。

5. 学校関係者評価（実施日 令和7年3月12日）

<職員の資質向上>

- ・違うクラス学年の子どもたちの事も良く理解されて、一人一人の保育について、同一性を持って保育されている。先生間の連携、カンファレンス等充実していることが良く分かった。
- ・先生同士の連携がとれていると感じることが多く、子どもたちが自由に他クラスを行き来する場面など見ると、その効果を感じる。
- ・1年間幹事をして、日野台幼稚園の先生方の保育に対する気持ちが熱く、本当に一人一人を大切にしてくださっていると感じた。先生方と力を合わせてこれからも園児のみなさんが楽しんで園生活を送れるようにしたいと思う。
- ・一人一人の個性を大切に、子どもたちが主体的に活動できるように職員の研修や育成をしてくださっていてもありがたい。

<安全管理>

- ・ひよこ組の我が子も、「何が起こった時の訓練なのか」「なぜ、この訓練が必要なのか」を、よく理解していた。先生方がわかりやすく説明してくださったからだと思う。ただ、漫然と行うのではなく、その大切さが解るように指導、訓練を実施して下さった。

<保育内容の改善>

- ・上の学年が下の学年を非常に気にかけて、引っ張っていく様子を感じられた。
- ・季節の行事について、七夕、ハロウィン、おひなまつり、などあり、親子で季節の話題が広がった。
- ・プロの演奏者の方を招いて音楽会はとても素晴らしい体験となった。普段、あまり目にしない楽器や音に触れ合うことで、新鮮な驚きと興味を芽生えさせてくれたと思う。
- ・すくわくプログラムの一環で、コンサートや楽器に触れることができるとも良かった。家でピアノを弾きたがったり、TVで楽器を見ると「コンサートで見たよ!」「この曲知ってるよ」と楽しそうに話してくれることが増えた。
- ・プレイデーは、絵本の話から興味関心を広げ、海の動物たちや海の世界を制作でも表現した。サーキットやダンスも海の中をイメージした運動の遊びができた。特性や個性がそれぞれ違う中、全員の子どもたちが楽しく参加できる所が素晴らしい。
- ・プレイデーのイメージによる運動遊びはとても可愛らしく、絵本の中に子どもたちが入り込んでいるようだった。一方で、特に年長児には物足りない部分(難易度)もあったようなので、そのバランスが難しいなと感じた。
- ・クラスをまたいで活動期間があるためか、子どもたちもどの先生に対しても安心して甘えているような気配も感じられた。